

2 - 1 東北地方およびその周辺の微小地震活動 (1983年5月～1983年10月)

Microearthquake Activity in and around the Tohoku District
(May, 1983 - October, 1983)

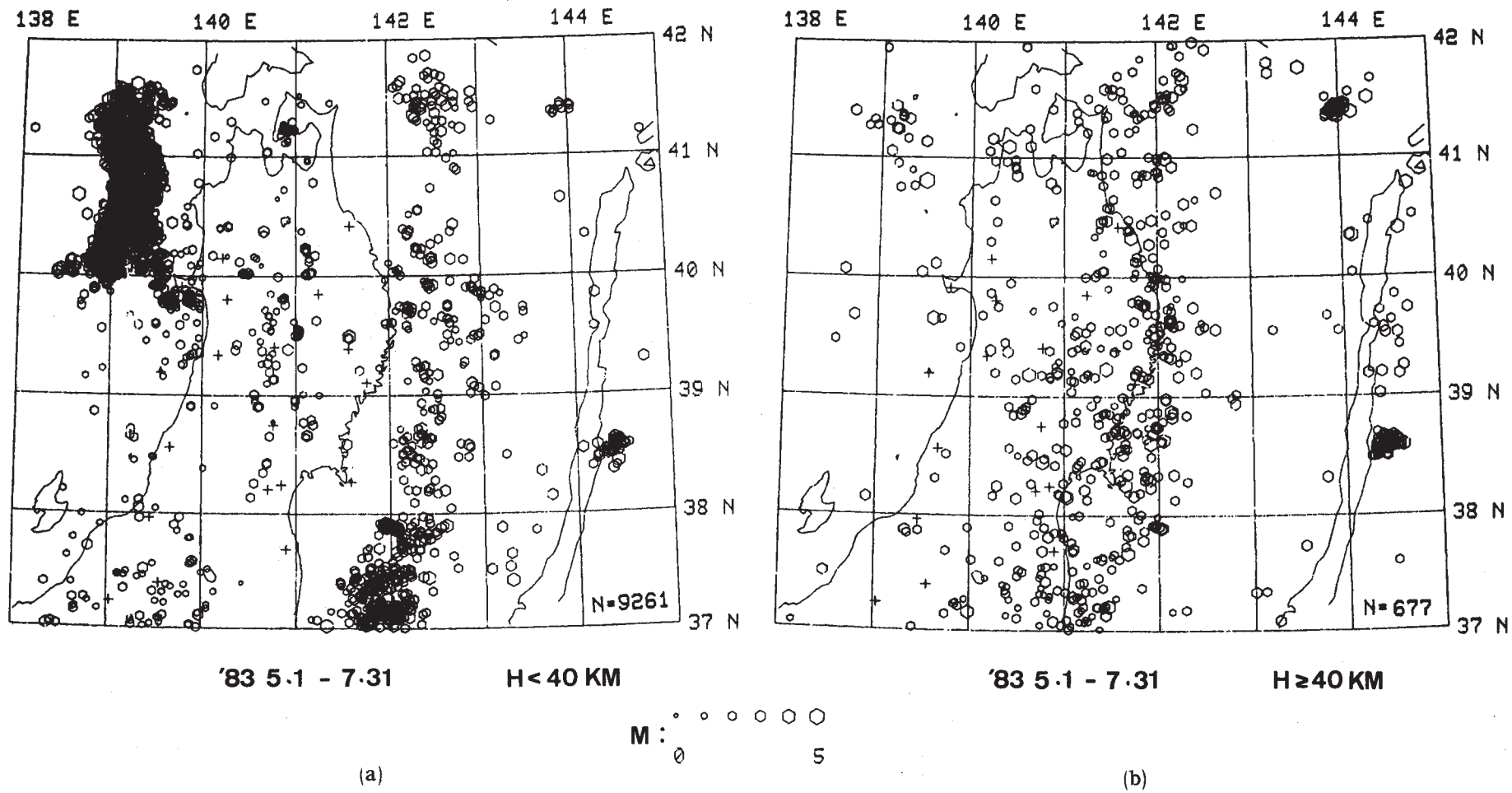
東北大学 理学部
Faculty of Science, Tohoku University

1983年5月～1983年10月の期間における東北地方およびその周辺の微小地震活動について報告する。1983年5月～7月, 1983年8月～10月の各3ヶ月間の震央分布を震源の深さ $H < 40$ km, $H \geq 40$ kmに分けて, 第1図, 第2図に示す。第3図(a)～(f)は, 各1ヶ月毎の $H < 40$ kmの地震の震央分布である。この期間の顕著な活動は, 内陸部では秋田県森吉山付近, 青森県下北半島川内付近である。また三陸沖の日本海溝付近で顕著な群発地震活動がみられた¹⁾。

1983年日本海中部地震の余震活動²⁾と, 男鹿半島を取り囲む様に発生している群発地震活動が, 日本海側の顕著な活動である。この男鹿半島周辺の群発地震活動は, 1983年9月まで続いた。

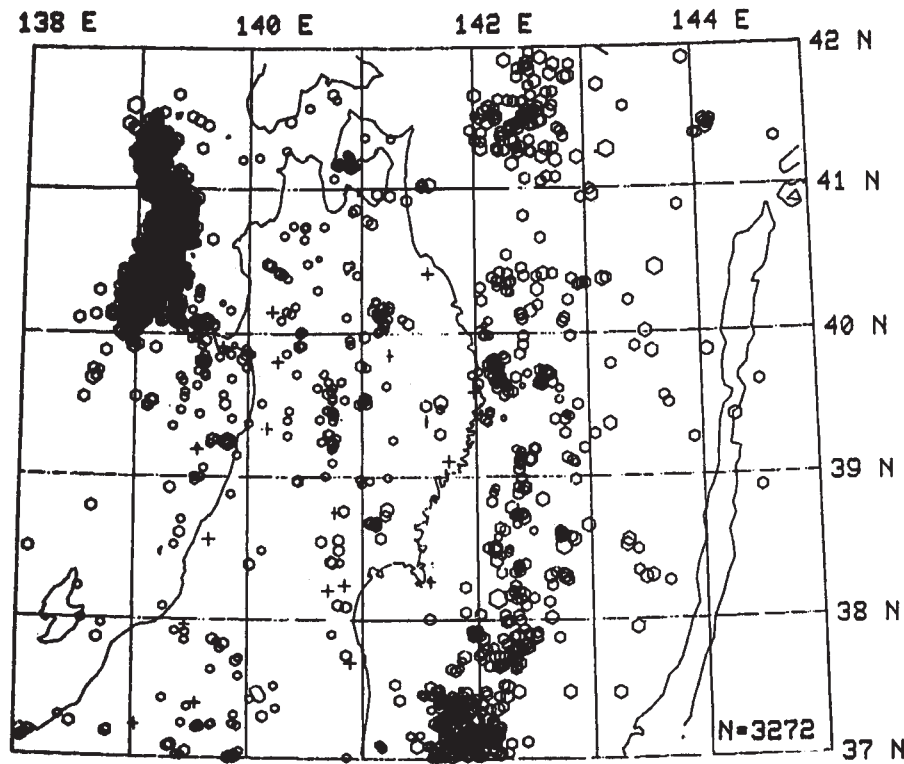
参 考 文 献

- 1) 東北大学理学部: 東北地方およびその周辺の微小地震活動(1982年11月～1983年4月), 連絡会報, **30**(1983), 19 - 29.
- 2) 東北大学理学部, 弘前大学理学部: 1983年日本海中部地震の前震・余震活動, 連絡会報, **31**(1984), 22 - 33.

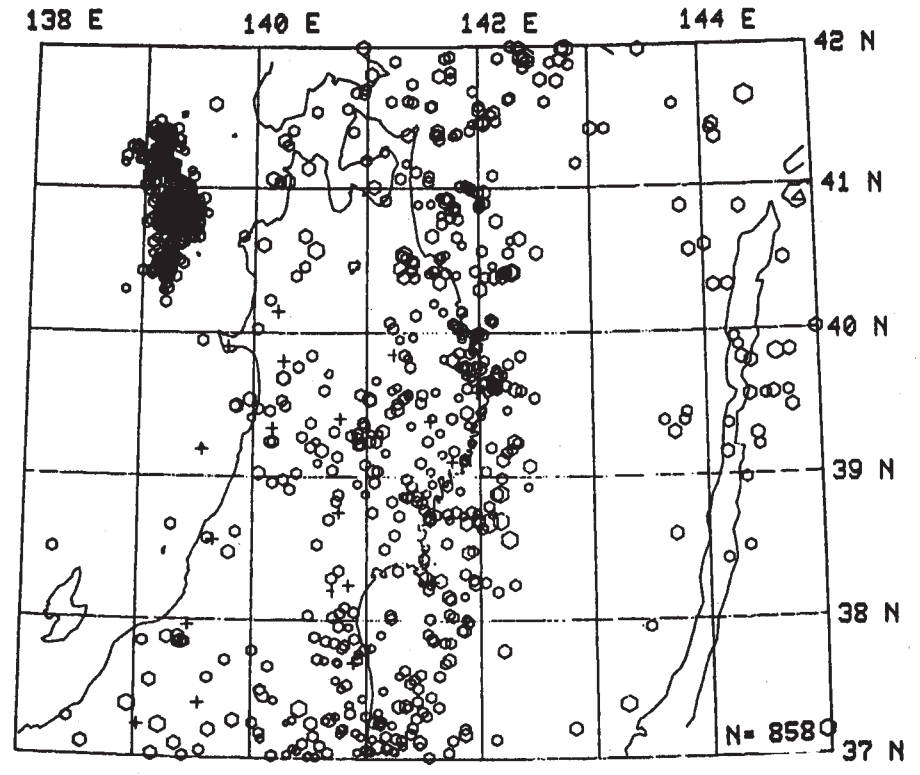


第1図 東北地方の微小地震の震央分布（1983年5月～7月）(a)H<40km, (b)H ≥ 40km

Fig. 1 Epicenter distribution of microearthquakes in the Tohoku District (May, 1983 - July, 1983).
(a) H < 40 km, (b) H ≥ 40 km.



'83 8.1 - 10.31 H < 40 KM



'83 8.1 - 10.31 H ≥ 40 KM

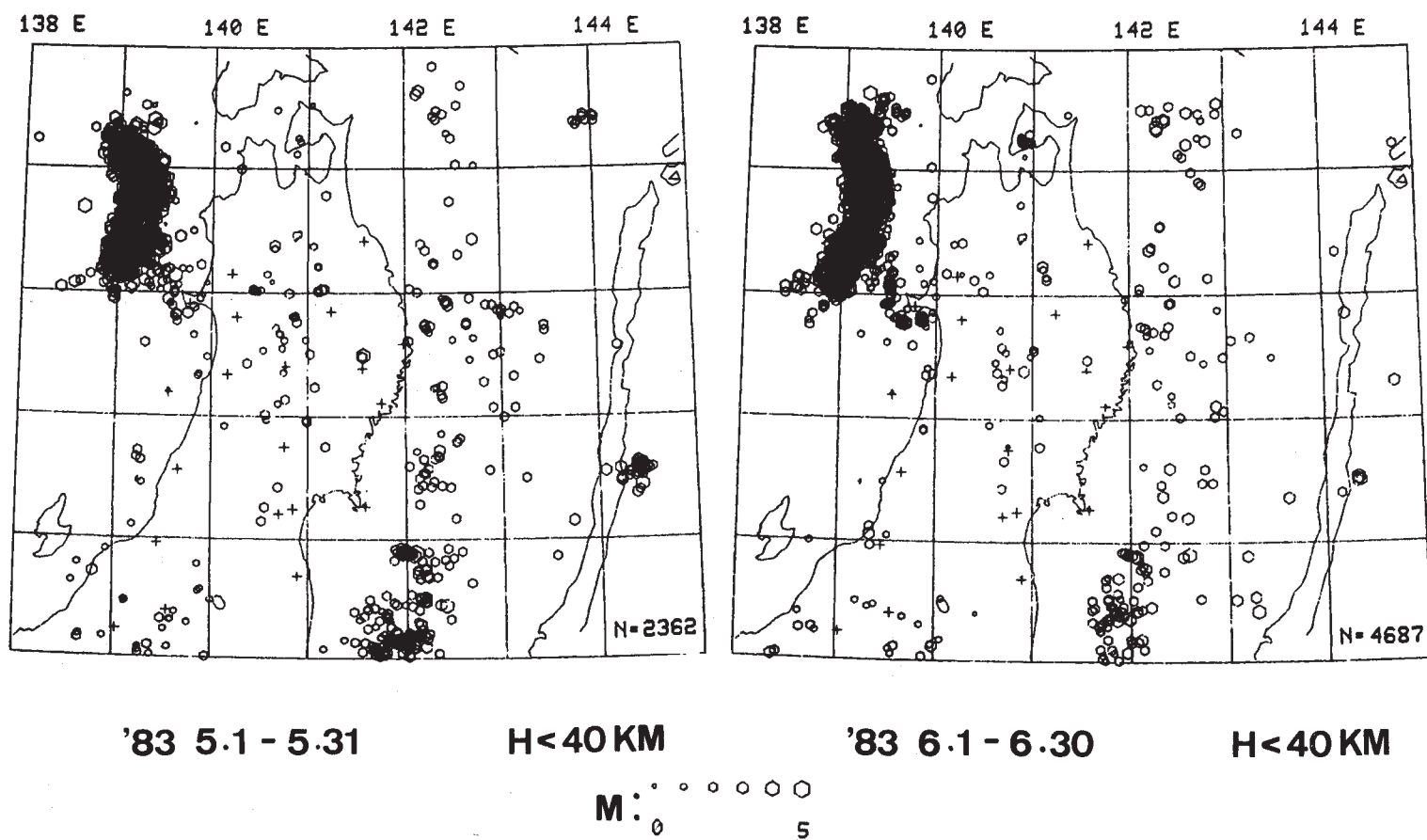


(a)

(b)

第2図 東北地方の微小地震の震央分布 (1983年8月~10月) (a)H<40km, (b)H ≥ 40 km

Fig. 2 Epicenter distribution of microearthquakes in the Tohoku District (August, 1983 - October, 1983).
(a) H < 40 km, (b) H ≥ 40 km.



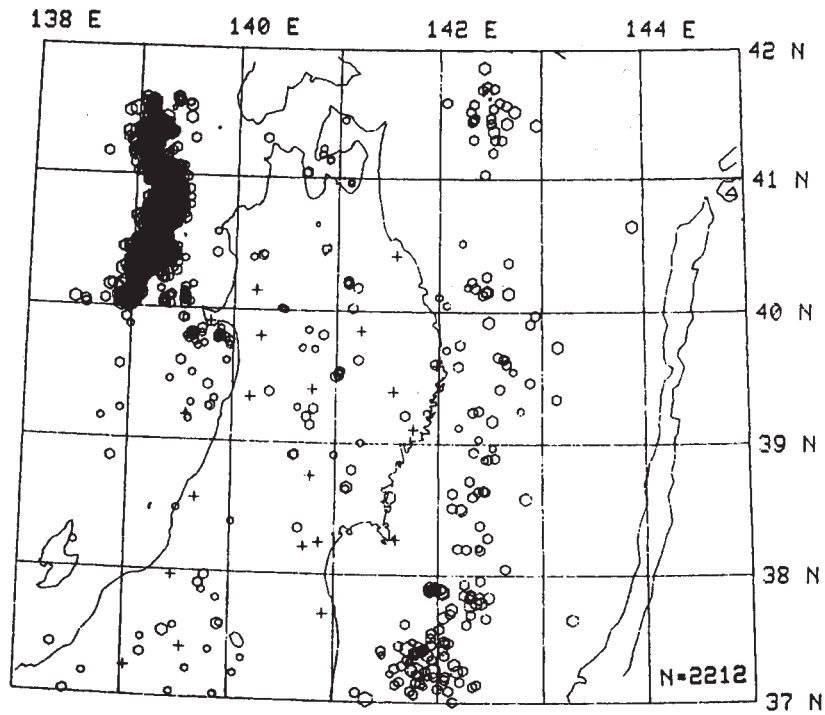
(a)

(b)

第3図 東北地方の浅発微小地震 (H<40km) の震央分布

(a)1983年5月, (b)6月, (c)7月, (d)8月, (e)9月, (f)10月

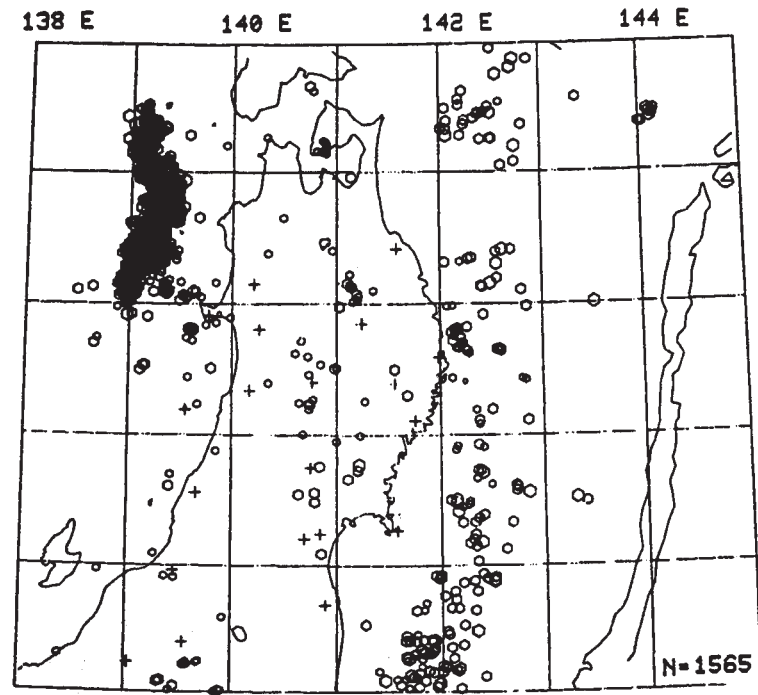
Fig. 3 Epicenter distribution of shallow microearthquakes (H < 40 km) in the Tohoku District.



'83 7.1 - 7.31

H < 40 KM

(c)



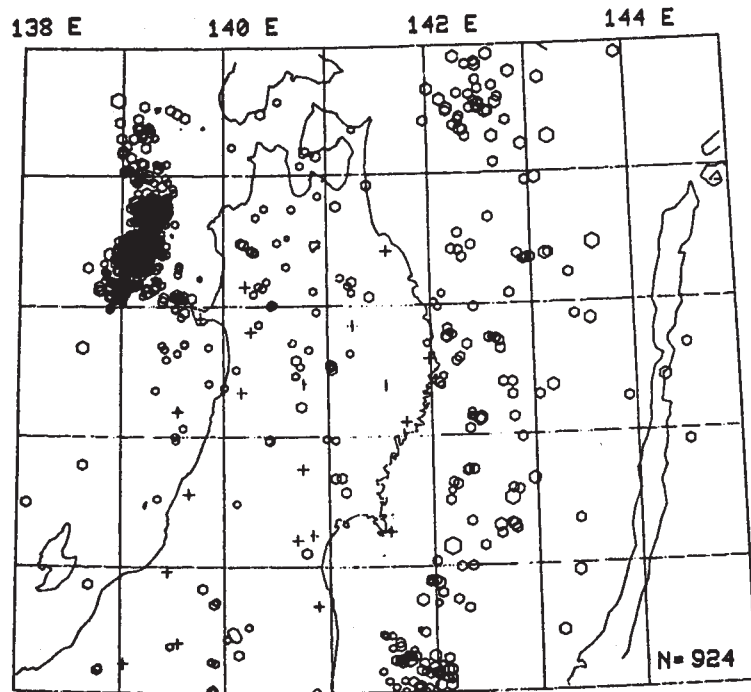
'83 8.1 - 8.31

H < 40 KM

(d)

M: \circ \circ \circ \circ \circ \circ
 0 5

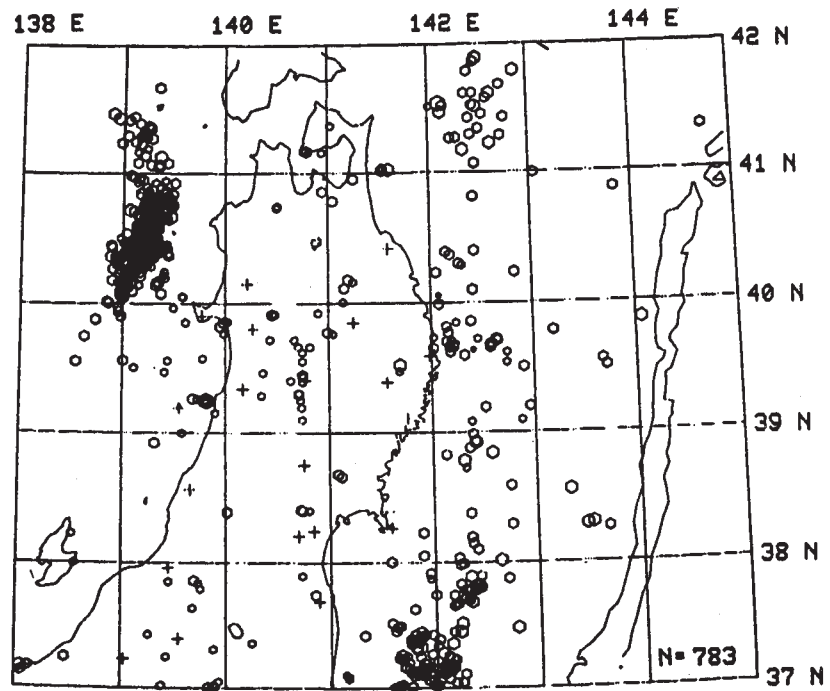
第3図 つづき
 Fig. 3 (Continued)



'83 9.1 - 9.30

H<40KM

(e)



'83 10.1 - 10.31

H<40KM

(f)

M: \cdot \circ \circ \circ \circ \circ \circ
 0 5

第3図 つづき
 Fig. 3 (Continued)